

地域おこし協力隊活動報告

板倉区寺野地区 地域おこし協力隊

ふくい たくや

福井 拓也

活動の概要

地域：板倉区寺野地区

母体：寺野地区連絡協議会

期間：令和4年5月9日～令和7年5月8日

内容：ミッション① 観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信
ミッション② 特産品開発

活動計画①

ミッション① 観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

業務① 観光スポット（芝桜・アジサイ・ひまわり）の魅力アップ

1年目

「地域・イベント・スポットを知る」

- ・ イベント、まつり、共同作業に参加し地域を知る
- ・ 花木の手入れの実践（5～11月）
- ・ 花木を育てる知識・技能の蓄積（12～3月）
- ・ 各地先進事例の研究
- ・ スポット整備にかかる財政支援の研究

2年目

「魅力アップに関する助言をまとめ、地域に提案する」

- ・ 各スポットのサイン等の研究
- ・ 各地先進事例の研究
- ・ スポット整備にかかる財政支援の研究
- ・ 上記を踏まえ、各スポットを継承していける魅力アップに関する助言をまとめる
- ・ 花木の手入れの実践（5～11月）

3年目

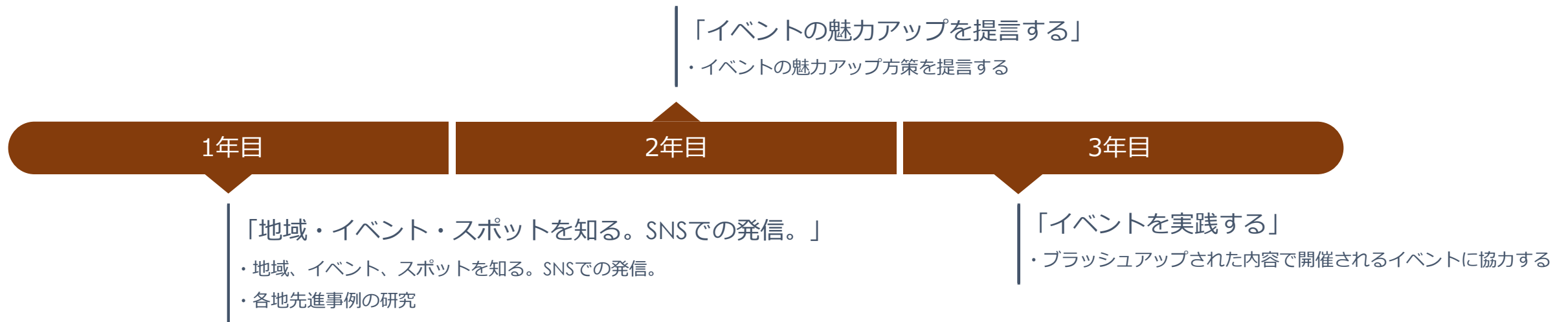
「地域とともに魅力アップ計画を実践する」

- ・ 魅力アップのための改善
- ・ 花木の手入れの実践（5～11月）

活動計画②

ミッション① 観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

業務② スポットに関するイベント開催、情報発信



活動実績 1

1年目

○芝桜のお手入れ

- ・ 開花期間中の雑草とりなどを実施。

○アジサイのお手入れ

- ・ 開花前後に合わせて4回の草刈りと剪定を実施。



芝桜の雑草とり



アジサイの草刈り

○ひまわりのお手入れ

- ・ 種まき時と開花時の2回、草刈りを実施。

○草刈機使用方法の習得

→ 栽培方法や看板の設置については各地域団体がこれまでの活動の中で習得、実施していると感じた。



ひまわり畑の草刈り

活動実績 2

1年目

- 『てらの春まつり』支援
 - ・会場設営や販売をお手伝い。
- 『筒方ふきんと祭り』支援
 - ・会場設営などをお手伝い。

- 『どうがた新そば祭り』支援
 - ・会場設営や配膳をお手伝い。

→ 情報発信などによる集客、作業人員の確保、
財政支援について要検討。



寺野春まつり



筒方ふきんと祭り

活動実績 3

1年目

○『新潟県地域おこしキャラバン』参加

- ・自身の任地に加え、吉川区と清里区の特産品を販売。

○『直江津鉄道まつり』協力

- ・直江津駅前商店街振興組合らと出店調整し、そばや加工品、野菜の販売、紙芝居を実施。



新潟県地域おこしキャラバン



直江津鉄道まつり

○『きらきら互の市』協力

- ・直江津南小の総合学習での講演をきっかけに6年生が開催。板倉、牧、清里、吉川区の協力隊が出店。

○『いつものもしもキャラバン』出店調整

- ・無印良品とどうがたの郷特産物生産組合との出店調整を実施。



いつものもしもキャラバン

活動実績 4

1年目

○『板倉フリーマーケット』開催

- ・ 10月にゑしんの里記念館にて開催。約300人来場。

○『いたくら歴史散歩』開催

- ・ 郷土料理体験や昼食付の史跡散策バスツアー。



板倉フリーマーケット



てらのお茶のみ

○やすらぎ荘での出張サロンの開催

- ・ 社会福祉協議会と板倉まちづくり振興会との共催。

○『てらのお茶のみ』開催

- ・ 集落センターで開催。地区内へ案内し25人が参加。

○やすらぎ荘での出張サロンの開催

- ・ 社会福祉協議会と板倉まちづくり振興会との共催。

→ イベント運営のノウハウを学びながら、実際の企画運営も経験できた。また、様々な個人や団体の方との繋がりが生まれた。

活動実績 5

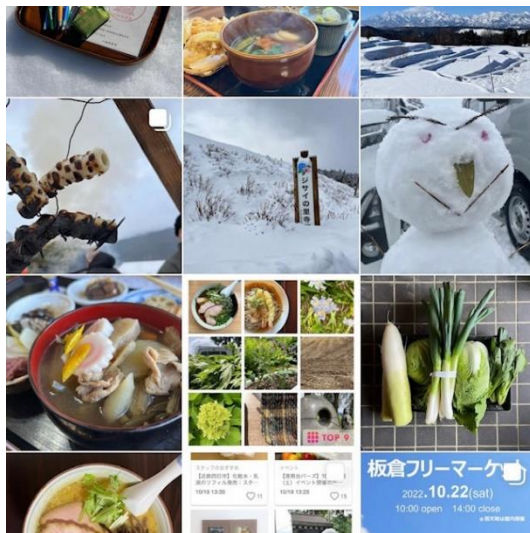
1年目

○Instagramアカウント開設

・フォロワー455人。イベント開催時の告知など実施。



Instagramアカウント

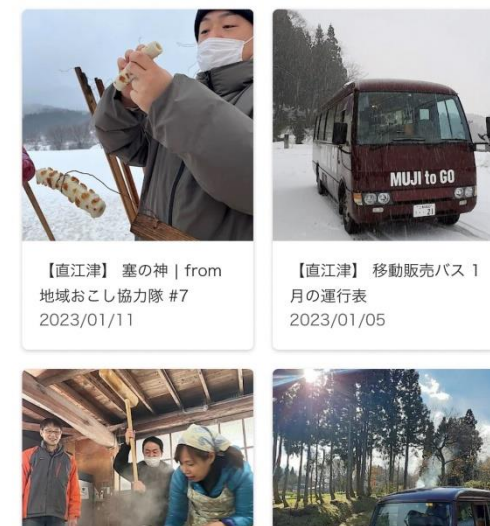


○無印良品アプリ『MUJI passport』で定期配信

・月に2回、地域の情報や活動内容を配信。



MUI passport



活動実績 6

2年目

○『いたくら芝桜まつり』開催

- ・主催のみどりやすらぎグループと企画から準備、当日の運営を実施。期間中に約10,000人来場。

○芝桜の植替え

- ・夏の水不足と猛暑によりダメージを受けた部分を秋に植え替え。板倉中学校2年生も参加。

○鯉のぼりの設置方法や手順の習得

- ・芝桜開花時期に約100匹を掲揚。

○地域イベントの支援

- ・感染症の影響で休止していた地区のイベントが再開。出店調整やチラシ作成などを実施。

→ 協力隊として再開に向けて地域を牽引したわけではないが、会議には必ず参加して発言を求められた際は前向きな発言を心掛けた。



いたくら芝桜まつり



地域イベント「寺野遊雪まつり」

活動実績 7

2年目

- 『やわやわマーケット』開催
 - ・5月と10月に開催。計1,300人ほどが来場。
- 自転車まつり試走会の実施
 - ・知り合いに声掛けし37名が参加協力。
来年度の本大会開催に繋がった。
- 『直江津互の市』開催
 - ・直江津駅前商店街振興組合と開催。中山間地域と市街地の連携をテーマに、農産物等の特産品を販売。
- 棚田地域振興活動加算への取り組み
 - ・事務局との調整など地区事務局として支援。
- 地域独自の予算への取り組み
 - ・『やわやわマーケット』について申請。

→ 財政面でも地域活動を支援することができた。
棚田加算では計130万円ほどを地区の活動へ、独自予算では45万円の補助金が交付された。



YAWAYAWA MARKET itakura



上越自転車まつり試走会

活動実績 8

3年目

○『やわやわマーケット』開催

- ・昨年に引き続き5月と10月に開催。来場者数は計3,500人に伸長。

○『上越自転車まつり』開催

- ・2日間開催。全国から550人がエントリー。

○『直江津互の市』出店

- ・昨年から引き続き開催。中心市街地活性化推進室が直江津駅前商店街振興組合をサポートする体制に。

○地域イベントの支援

○棚田加算への取り組み

- ・昨年同様に支援。地区活動への拠出は約180万円に。

○地域独自の予算への取り組み

- ・『やわやわマーケット』に加え『上越自転車まつり』についても申請を担当。



上越自転車まつり

3年間の活動のまとめ

ミッション① 観光スポットの整備、イベントの開催、情報発信

- ・ イベントの開催をメインに活動。地域が注目される機会は増加したと感じる。地区内で新たなイベントが企画されるなど活力向上にも繋がった。
- ・ 個人としては、企画運営のノウハウを学び、実際にいくつか開催し経験を積むことができた。それに伴い地域内外での繋がりができ、活動の幅が増えた。
- ・ 情報発信は数種類の方法を試すことができた。地域に足を運び体感してもらう中で魅力を伝えることに意味があると再認識した。SNS等のオンラインでの発信もそのきっかけとしてももちろん重要。
- ・ 整備に関してはすでに計画があり、知識も豊富だと感じたので人や財政面での支援を優先しようと考えた。特に人的な支援は想像より難しかった。地域にさらに入り込みながら検討していきたい。

活動計画③

ミッション② 特産品開発

業務① 米・山菜・そば等の販路拡大と商品価値を高める

「戦略に則り発信、行動する。」

・戦略に則り行動する。

1年目

「地域の産品を知る。顧客獲得に向けた戦略を立てる。」

- ・農作業に従事し、米、そば等の地元産品が、どのようにして作られるか学習する。
- ・高田、直江津の朝市に出品し、市場調査の一助とする。
- ・寺野の産品のすばらしさを理解した上で、どのように顧客を獲得するか戦略を立てる。

2年目

3年目

「より高く売れる商品づくりへのアプローチ」

- ・戦略に則り行動する。
- ・より高く売れる商品を目指し、アプローチする。

活動計画④

ミッション② 特産品開発

業務② 米・山菜・そば等を素材にした加工品の開発

1年目

「地域の産品を知る」

- ・農作業に従事し、米、そば等の地元産品が、どのようにして作られるか学習する。
- ・山菜に関する知識を広げる。（生育環境、一般的な調理法）

2年目

「地元グループと連携して特産品開発を探る」

- ・パッケージを含めた、板倉らしさ、寺野らしさを演出した商品を検討する。
- ・試作品を完成させる。
- ・イベント、朝市へ出店し、市場調査の一助とする。

3年目

「販路を開拓する」

- ・試作品の販路を検討する。

活動実績 9

1年目

○地元加工グループ『寺野いろりばた』の活動支援

- ・主に製造補助や販売について支援。

○ちまき作り体験

- ・板倉小学校の体験授業に参加。

○よもぎの収穫加工体験

- ・地区の取り組みへのメディア取材時に同行。



寺野いろりばた



板倉小学校ちまき作り



よもぎこき

○オリジナルシロップの開発企画

- ・地域素材を活用した酵素シロップの開発を計画。

→『寺野いろりばた』は地区内では人気があり商品力も高いが、高齢化の影響で活動継続が不安な面もある。また活動資金の確保も課題。

活動実績 10

2年目

○地元加工グループ『寺野いろりばた』の活動支援

- ・ 昨年同様、製造補助や販売について支援。

○郷土料理体験の実施

- ・ 板倉小学校6年生によるみょうが団子作り体験。

○農産物収穫体験の実施

- ・ 板倉小学校6年生による大根収穫体験。
寺野秋まつりでの販売体験
も合わせて実施。

→ 年初の計画では、後継者確保の
きっかけ作りとして郷土料理体験
を考えていたが、グループの意向
などを汲み取り方向性を変えた。

○棚田加算への取り組み

- ・ 事務局との調整など地区事務局として支援。

→ 大きくはないが寺野いろりばたグループを財政面で
支援することができた。



みょうが団子づくり体験



大根の収穫体験

活動実績 11

3年目

○地元加工グループ『寺野いろりばた』の活動支援

- ・ 昨年同様、製造補助や販売について支援。

○ふるさと農村交流事業のサポート

- ・ みどりやすらぎグループがふるさと納税を活用し、米作り体験を実施。当日の進行などを担当。



○棚田加算への取り組み

- ・ 昨年同様の支援。補助金額は少し増加。



ふるさと農村交流事業

3年間の活動のまとめ

ミッション② 特産品開発

- ・寺野いろりばたグループの支援をメインに実施。ほぼ全ての活動に参加し、製造や販売の補助を行った。また、市内外の様々な場所へ出店し市場調査を兼ねた販売支援を実施した。その結果、商品の魅力を把握し商品力もあると感じた。
- ・グループ継続の為の課題は高齢化による後継者不足と財政面の不安定さだと感じた。地区外から新メンバーを発掘するため体験会を検討したが、代表者との意見交換やグループの支援を続ける中で現メンバーを維持する方向性に変更。さらにやりがいを感じてもらうことや負担減、財政支援に注力した。
- ・米やそばといった農作物に関しては、作業の部分的な支援や見学となった。もう少し農作業ができればよかったとも思うが、限られた時間の中で活動する上で選択した。山菜も含めて魅力は把握できたので、ふるさと納税の取り組みやそば祭りの支援を継続しながら販路開拓を目指したい。

任期終了後について

- ・寺野地区での生活を続け、住民として地区の活動に参加。
- ・やすらぎ荘（ネクストリゾート上越）職員として勤務しながら、任期中に携わった地域イベントの運営（いたくら芝桜まつり、YAWAYAWA MARKET itakura、上越自転車まつり）も継続。
- ・副業としてイベントでのコーヒー販売に挑戦する。焙煎などのコーヒーに関する知識や技術は市内のコーヒー店経営者の方から教わり、設備なども使わせていただく。

**3年間あまり先のことを考えずに自分に出来ることを精一杯やってきた。
その結果、任期後も地区に住み続けることが可能になり、さらには活動
内容の一部を継続できるような環境で働けることになった。
地域みなさんが自分の存在や活動を必要だと感じてくれた結果と捉え、
引き続き地域のことを考えながら自分に出来ることを精一杯やっていき
たいと思う。**

